

	児童の実態	改善プラン	改善プランの評価方法
国語	<p>①漢字や言葉の意味を正しく覚え使用できるようにする必要がある。</p> <p>②文章の構成や内容を正しく把握し、要旨をとらえるかに個人差がある。</p> <p>③自分の考えを形成し表現することへの苦手意識を減らす必要がある。</p>	<p>①モジュールやデジタル教材、<u>自主学習を活用して、分からない漢字や言葉は自分で調べて練習するように指導していく。</u></p> <p>②<u>学習者用端末を活用して学習への参加率を上げ、友達の考えと自分の考えを比較しながら、教材を読み込めるようにする。</u></p> <p>③<u>学習形態や発問を工夫して考えの表出機会を増やす。振り返りを丁寧に行い、単元全体を通して自分の考えをもてるようにする。</u></p>	<p>①テストやノート、作文の記述から定着を見取る。自主学習ノートで計画的に学習する力を評価する。</p> <p>②授業中の机間指導、ノートや学習者用端末の学習履歴から理解・習得状況を評価する。</p> <p>③ノートの記述や、話し合いの様子、発言内容から評価する。</p>
算数	<p>①4学級5展開で習熟度別指導をしている。真面目に学習に取り組む児童が多いが、学習内容の定着度については個人差が大きい。</p> <p>②乗法、除法の計算の学習内容の定着に個人差がみられる。そのため、それらの計算を活用して問題解決することに苦手意識をもっている。</p>	<p>①<u>習熟度に合った指導を行う。発展コースでは説明をする活動を多く設けたり、発展的な問題に取り組んだりして学力の向上を図る。補充コースでは、基本的な問題に繰り返し取り組み、学習内容の確実な定着を図る。</u></p> <p>②計算単元では適用問題に取り組む時間を確保する。それと同時に、<u>文章問題に取り組むときは考えを整理するために図を用いて問題解決するように指導している。</u></p>	<p>①ノートの記述や授業中の様子を観察したり、単元テストの状況を学年で共有したりして、学習内容の理解を確認する。</p> <p>②ノートを集め、適用問題や授業の感想から本時の内容がどれくらい理解できているか評価する。机間指導を通して、自力解決の状況を確認する。</p>
社会	<p>①学習問題を解決するために、必要な情報を資料から読み取り、まとめる力は身に付いている。</p> <p>②読み取った情報をもとに、自分の考えを表現する力を高めていく必要がある。</p>	<p>①必要な情報を精選してまとめることで、分かりやすくまとめる力を高めていく。</p> <p>②学習内容をまとめる際には、最後に必ず<u>自分の考えを書くようにする</u>。また、そのための時間を確保する。</p>	<p>①授業中の児童の発言の内容やノートの記述から評価する。</p> <p>②ノートの記述やワークシートから評価する。</p>
理科	<p>①予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を身に付ける必要がある。</p> <p>②学習したことと日常生活を関連させて考える力を身に付ける必要がある。</p>	<p>①<u>予想を立て、それを解決するための実験方法を考える活動を繰り返し行うことで、条件制御の考え方を身に付けさせる。</u></p> <p>②<u>具体物や映像を用意したり、日常と結び付くような発問を行ったりする。</u></p>	<p>①ノートの記述や話し合いの様子から、科学的に思考することができたか評価する。</p> <p>②ノートの記述や発言の内容から、児童の気付きを見取る。</p>

家庭	<p>①裁縫や調理などの実技に意欲的だが、技能の個人差が大きい。</p> <p>②学習したことを日常生活で活用する意欲を高める必要がある。</p>	<p>①個別指導や友達同士で教え合う時間を取り、全員が技能を身に付けられるようにする。</p> <p>②学習したことが活用できる生活場面を、具体的に想起しながら振り返るように声掛けをする。</p>	<p>①児童の活動への取組の様子や、完成した作品で評価する。</p> <p>②児童の取組の様子や、ワークシートへの記述、発表内容から見取る。</p>
体育	<p>①運動に対して、苦手意識を強くもつ児童に手だてが必要である。</p> <p>②ボール運動領域において、チームの特徴に合った作戦や練習方法を考え、伝え合う力を高める必要がある。</p>	<p>①動きや場を工夫したり、自分に合っためあてを設定したりできるよう、言葉掛けを行う。</p> <p>②<u>作戦を立てたり、ゲーム後の振り返りをしたりする場と時間を確保することで、作戦の有用性に気付くことができるようにする。</u></p>	<p>①めあてに沿った練習方法や場を選んで取り組む姿や、振り返りの内容から評価する。</p> <p>②学習カードの記入内容と、作戦タイムやゲーム中や振り返りの時間の姿を評価する。</p>
道徳	<p>①資料を通して感じた道徳的価値について、自分自身の経験を振り返って考える力を高めていく必要がある。</p>	<p>①友達の経験を聞いたり、自分自身の経験を思い起こしたりする時間を十分に確保する。</p>	<p>①ワークシートの記述を評価する。</p>
外国語	<p>①語彙や表現を習得し、コミュニケーションの中で活用している。</p> <p>②自分の考えをもてなかったり、コミュニケーションに困惑したりする場合がある。一人一人に寄り添った指導が必要である。</p> <p>③外国語の背景にある文化に対する関心が高く、理解を深めている。コミュニケーションの観点を意識し、相手とのコミュニケーションが続くように指導する必要がある。</p>	<p>①授業の中で、練習量を確保し、言語活動を中心に授業を組み立てるとともに、<u>スモールトーク</u>を行い、会話の往復に努める。</p> <p>②国内外の様々な人々の生き方や、考え方を提示し、豊かな考えを育む。<u>教科書の映像やリスニング教材を活用し、学んだ語彙を手掛かりに推測していく過程を実感できるようにする。</u></p> <p>③授業中に、英語でのコミュニケーションを重ね、<u>会話のキャッチボールの練習を繰り返し行う。</u>また、実際に、海外の人との交流を設定するなどし、リアルな状況の中でコミュニケーションを行い、文化への理解を深める。</p>	<p>①授業中に、ワークシートを確認する。</p> <p>②單元ごとのQ&Aテスト、振り返りシートの記述やノートの確認を行う。</p> <p>③スピーチや、学期ごとのパワーポイントテスト（コミュニケーションテスト）を実施し、達成度を把握する。</p>
総合的な学習	<p>①課題解決やその方法を考える場面において、自分の考えをもち、表現できる児童を増やす必要がある。</p> <p>②単元の見通しをもちながら探究的な学習を進めることに慣れる必要がある。</p>	<p>①自らの思いや願いの実現に向けて探究したくなる単元を開発し、児童が考え、判断し、実行できる授業づくりを進める。また、<u>適宜外部との連携も取り入れていく。</u></p> <p>②随時スタートに立ち返り、ゴールを確認したり、振り返りの時間を十分に確保したりする。</p>	<p>①児童の表情や発言、振り返りの内容などが、単元導入時と比べて主体的になっているかを評価する。</p> <p>②振り返りの文章量が増えたり、次時に向けた内容になっていたりするか評価する。</p>

特別活動	<p>①学級会で、合意形成を図り進行する力を高めていく必要がある。</p> <p>②委員会活動や当番活動では、自分の役割を自覚し、責任をもって仕事に取り組んでいる。</p>	<p>①学級会の計画を立てる時間を取り、司会グループと学級会の目的や流れを確認する。</p> <p>②互いの活動を紹介し合う時間を設ける。</p>	<p>①学級会の様子やワークシートの記述で評価する。</p> <p>②日常の取組の様子を観察し、評価する。</p>
音楽	<p>①意欲的に取り組む児童が多く、表現することを楽しんでいる。</p> <p>② リコーダーに興味をもち、意欲的に取り組む児童が多い。タンギング等もほとんどの児童が身に付けている。</p> <p>③ 音楽づくりや器楽の学習では、グループで協力し、表したい音楽を工夫して表現しようとする姿が多く見られる。</p>	<p>①さらに表現すること楽しめるよう、発表の場を多く設定する。自信をもって活動できるよう、個別指導の時間も確保する。</p> <p>②基礎的な技能を確かめる時間を確保し、<u>何度も繰り返すこと</u>で定着を図る。個別に指導することで、定着を図るようにする。</p> <p>③課題の提示の仕方や発問を精選し、さらに表現を工夫しようと主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>①授業の様子、発表の様子、個別指導の際の様子や振り返りのプリント等で評価する。</p> <p>②授業の様子や個別指導の際に評価する。</p> <p>③授業の様子、発表の様子で評価する。個別指導の際の様子や振り返りのプリント等でも評価する。</p>
図工	<p>①多くの児童が課題のねらいを理解し、意欲的に取り組むことができている。しかし、集中力や学習の継続性に欠ける場合は、丁寧な指導が必要である。</p> <p>②制作の折に重要な道具の扱いを学んできた。</p>	<p>①児童が主体的に課題解決を図り表現力豊かに制作できるように、<u>個々の児童の声を聞き</u>、必要に応じて情報を与えてその実現を図る。</p> <p>②学年に応じた材料や道具、<u>色彩やその特性についての学習</u>を行う。そして、そこから児童の思いの具現化を図り、達成感や制作の喜びをもてるようにする。</p>	<p>①作品を作る過程での、児童の取り組む様子や、完成作品で評価する。</p> <p>②児童の感想文に、できればや楽しさ、難しさを数値化して書き、自己評価の参考にする。</p>